



2025年5月19日

各位

会社名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 山口 普
(コード番号:8278 東証プライム市場)
問合せ先 取締役上席執行役員企画・開発担当
豊田 靖彦
(電話番号 082-535-8516)

2024年度 当社取締役会の実効性に関する評価の結果について

当社は、経営理念「私たちは、豊かなくらしづくりを目指します。」「私たちは、地域社会の発展に貢献することを目指します。」「私たちは、人々を大切にする企業を目指します。」を礎として、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、コーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題と位置付け、その充実・強化に継続的に取り組んでおります。かかる基本方針に基づき、当社取締役会は、取締役会の実効性について定期的に分析・評価を行い、抽出された課題に対する改善策を検討し実施しております。

本日開催の取締役会において、2024年度の評価と分析結果から抽出された課題の確認、並びに実効性を改善する取組みを決定いたしましたので、その内容を下記のとおりお知らせいたします。

1. 評価方法とプロセス

(1) 2025年2月、取締役会議長を含む全取締役・監査役を対象に、以下を項目とするアンケートを実施いたしました。アンケートは、各項目の設問を5段階で評価の上、コメントを記載する形式で、現状の実効性を把握するとともに課題を抽出いたしました。

- ① 取締役会の構成と運営
- ② 経営戦略と事業戦略
- ③ 企業倫理とリスク管理
- ④ 業績モニタリングと経営陣の評価・報酬
- ⑤ 株主等との対話

(2) 4月、アンケート結果に基づき、課題・改善策について取締役会で議論いたしました。

(3) 5月、実効性の評価結果と改善策を、取締役会で確認いたしました。

2. 分析および評価結果

上記評価方法により、質問項目全般にわたり概ね適切であることが確認され、取締役会の実効性は確保できていると評価いたしました。

(1) 取締役会の構成は適切であり、その運営は適切になされています。また、社外の取締役・監査役への議案の事前説明が行われ、取締役会における審議の質の向上に寄与しています。

- (2) 経営方針・中期戦略について、取締役会で議論・決定がなされており、取締役会はその役割・機能を適切に果たしています。一方、現行の中期経営計画の進捗フォローを継続するとともに、次の中期戦略、長期戦略も視野に入れた議論を進める必要があることを確認しました。
- (3) 中期戦略及び重要な業務執行の決定事項にかかる進捗モニタリングにおいて、取締役会はその役割・機能を適切に果たしています。一方、取締役会で決定された投資案件についての効果検証をより高度化する余地があることを確認しました。
- (4) 取締役・監査役に対して、期待される役割・責務を果たすために必要とされる知識を整理し、その習得・向上の機会を体系化のうえ継続的に提供していくことが期待されていることを確認しました。

3. 今後の取組み

- (1) 取締役会における議論の活性化、審議の質の向上のため、審議資料の質・量の適正化に継続して取り組みます。
- (2) 取締役会において、現行の中期経営計画の進捗フォローを継続するとともに、次の中期戦略、長期戦略も視野に入れた議論を進めてまいります。
- (3) 取締役会において、中期戦略及び重要な業務執行の決定事項にかかる進捗モニタリングを継続するとともに、過去の経営戦略の振り返りや投資案件の事後の効果検証をさらに高度化することで、将来に向けての経営戦略や投資案件の意思決定の精度を高めてまいります。
- (4) 取締役・監査役に対して、期待される役割・責務を果たすために必要とされる知識を整理し、その習得・向上の機会を体系化のうえ継続的に提供してまいります。

以 上